

2014年2月号  
2014. 2. 13  
NO. 111-1

# AIST SHIKOKU NEWS

<http://unit.aist.go.jp/shikoku/>

## 産総研新技術セミナー（高知） 平成26年2月28日（金）開催

- 【日 時】平成26年2月28日（金） 14:00～16:30  
 【会 場】高知県工業技術センター 2階第1研修室  
 （高知県高知市布師田3992-3）  
 【定 員】50名（定員になり次第、締め切らせていただきます。）  
 【参加費】無料

### 【プログラム】

1. 開会挨拶他 14:00～14:10

### 2. 講演 1 14:10～15:10

#### 「健康機能性物質の探索：病因の解明と機能性物質のスクリーニング」

独立行政法人産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門  
 健康維持機能物質開発研究グループ グループ長 大西 芳秋

#### <概要>

ハーブや食用植物、海藻等には多くの生理活性物質が含まれており、健康機能性物質として利用可能な物質が存在しています。当研究グループで行っている、細胞を用いた測定系やラットを用いた血圧測定等による健康機能性物質の解析を中心に、アルツハイマー病等の病因ペプチド構造の解析等、新規健康機能性物質のスクリーニング方法の開発を含めてご紹介させていただきます。また、近年、生体リズムを調節している時計遺伝子に対する作用を指標に、パッションフルーツ等に含まれるアルカロイド等が生体リズム調整剤として機能することを見出し、これらについても詳細にご紹介致します。

休 憩 15:10～15:30

### 3. 講演 2 15:30～16:30

#### 「アディポサイトカインの産生調節物質の探索－生活習慣病の予防・改善－」

独立行政法人産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門  
 健康維持機能物質開発研究グループ 主任研究員 河野 泰広

#### <概要>

糖尿病や高脂血症および動脈硬化症等の生活習慣病が急増し、その対策が社会問題になってきている現在、血糖降下、脂肪低下作用を有する機能性食品の開発が求められています。生活習慣病では血中のアディポネクチンが減少し、PAI-1 およびTNF $\alpha$ は増加します。これらの生活習慣病に関わるアディポサイトカイン産生調節物質を解明することが重要です。生活習慣病の予防、改善を図ることを目的に、食用植物のエタノール抽出物からアディポネクチン産生増進物質、PAI-1 およびTNF $\alpha$ 産生抑制物質を探索するとにより、血糖降下、脂肪低下作用を有する機能性食品の開発を行っています。

【お申し込みは以下HPをご覧ください】

AIST四国 セミナー 高知

検索

CLICK!!

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/event/20140228shingizyutu.html>

2014年2月号  
2014. 2. 13  
NO. 111-2

# AIST SHIKOKU NEWS

<http://unit.aist.go.jp/shikoku/>

## 百歳を健康に生きられる社会の実現に向けて -健康長寿社会を支える健康モニタリングと情報活用- (シンポジウム開催) 平成26年3月10日(月)開催(東京)

【日 時】平成26年3月10日(月) 13:00~17:45

【会 場】JASSO 国際交流会議場-プラザ平成(ゆりかもめ、船の科学館駅下車、東口より徒歩3分)

【参加費】無料 (※交流会参加の場合のみ4,000円)

### 【プログラム】

1. 開会挨拶、開催趣旨説明など 13:00~13:25
2. 講演1 13:25~14:00  
「健康サービスにおけるゲノムコホート情報の位置づけ(仮題)」  
東北メディカルメガバンク機構 機構長 山本 雅之 氏
3. 講演2 14:00~14:35  
「周産期~小児健康情報の蓄積と活用に向けて」  
香川大学名誉教授、徳島文理大学教授 原 量宏 氏
4. 休 憩 14:35~14:45
5. 講演3 14:45~15:20  
「こころと体の健康の測定と予知に向けた技術」  
産総研健康工学研究部門 部門長 吉田 康一
6. 講演4 15:20~15:55  
「歩き方を知り、歩き方を変えて健康を維持~デジタルヒューマン技術による歩行評価~」  
産総研デジタルヒューマン工学研究センター センター長 持丸 正明
7. 講演5 15:55~16:30  
「健康・医療情報の活用に向けた課題と対策」  
株式会社東芝ヘルスケア事業開発部 ヘルスケアニューコンセプト開発部 部長 高山 卓三 氏
8. パネルディスカッション 16:30~17:40  
テーマ「今後の健康サービスに必要なもの~高齢者の社会参加に向けて~(仮題)」  
モデレータ:産業技術総合研究所 理事 湯元 昇  
パネリスト:※50音順  
◇斎藤 健一 氏 健康ライフコンパス株式会社 代表取締役社長  
◇志賀 利一 氏 オムロンヘルスケア株式会社 技術専門職  
◇高山 卓三 氏 株式会社東芝ヘルスケア事業開発部 部長  
◇原 量宏 氏 香川大学名誉教授、徳島文理大学教授  
◇持丸 正明 産総研 デジタルヒューマン工学研究センター センター長  
◇山本 雅之 氏 東北メディカルメガバンク機構 機構長  
◇吉田 康一 産総研 健康工学研究部門 部門長
9. 閉会挨拶 17:40~17:45

【お申し込みは以下HPをご覧ください】

JASSO 百歳を健康

検索

CLICK!!

[http://www.jria.or.jp/HP/event/symposium\\_20140310.pdf](http://www.jria.or.jp/HP/event/symposium_20140310.pdf)

2014年2月号  
2014. 2. 13  
NO. 111-3

# AIST SHIKOKU NEWS

<http://unit.aist.go.jp/shikoku/>

## 第13回 産総研・産技連LS-BT合同研究発表会 平成26年2月18日(火)～2月19日(水)開催 (つくば)

【日 時】平成26年2月18日(火)～19日(水)  
【会 場】独立行政法人産業技術総合研究所つくばセンター 共用講堂  
【参加費】無料 (※交流会参加の場合のみ:2500円)

### 【開催概要】

本年度も産総研ライフサイエンス関連分野と産技連ライフサイエンス部会・バイオテクノロジー分科会の合同で、LS-BT合同研究発表会を開催致します。本発表会は、産総研及び公設試験研究機関の研究成果を広く公開し、産総研内外の研究者の相互交流、融合化を促進する事を目的に、企業、大学関連団体等、外部へも参加を呼びかけ開かれた会として開催致します。

今年度は特に、産総研が包括研究協力覚書を締結した上海交通大学とのジョイントシンポジウムを同時開催し、幅広い分野の方にご参加頂きたいと考えております。皆様のご参加をお待ちしております。

【詳細は以下HPをご覧ください】

LS-BT

検索

CLICK!!

[https://unit.aist.go.jp/rp-life/03\\_event/ls-bt2/](https://unit.aist.go.jp/rp-life/03_event/ls-bt2/)

## ヒューマンストレス産業技術研究会 第26回講演会 脳と報酬系-脳神経科学における最近の取り組み- 平成26年3月11日 (火) 開催 (大阪)

【日 時】平成26年3月11日 (火) 13:00～  
【会 場】独立行政法人産業技術総合研究所関西センター 基礎融合棟 2階大会議室  
【参加費】無料

### 【プログラム】

1. 総会、開会挨拶など 13:00～13:15
2. 講演 1 13:15～14:00  
「情動的意識決定の脳イメージング」  
京都大学大学院 医学研究科 高橋 英彦 氏
3. 講演 2 14:00～14:45  
「感性脳 - 報酬系が関与する人間性の基盤となる心と脳の基礎」  
慶應義塾大学 文学部 川畑 秀明 氏
4. 休 憩 14:45～15:05
5. 講演 3 15:05～15:50  
「報酬系と疲労からみる学習意欲の脳科学」  
独立行政法人理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター 水野 敬 氏
6. 閉会挨拶 15:50～15:55

【お申し込みは以下HPをご覧ください】

ヒューマンストレス

検索

CLICK!!

<https://unit.aist.go.jp/hri/stresstech/forum26j.htm>

2014年2月号  
2014. 2. 13  
NO. 111-4

# AIST SHIKOKU NEWS

<http://unit.aist.go.jp/shikoku/>

## 四国センター（健康工学研究部門）の活動が 四国経済産業局のホームページにて紹介されました

四国センターの「健康工学研究部門」（吉田康一部門長）では、「100歳を健康に生きる」ための様々な技術開発に取り組んでおります。四国経済産業局ホームページの「健幸支援産業の創出」コーナーで同部門の研究活動（以下2点）が紹介されました。

- 百歳を健康に生きる技術開発（吉田部門長インタビュー）
- 紙素材ベースの健康診断キットの開発（淵脇主任研究員インタビュー）

【詳細は以下HPをご覧ください】

四経局 健幸支援

検索

CLICK!!

[http://www.shikoku.meti.go.jp/soshiki/skh\\_b1/1\\_sesaku/140115/index.html](http://www.shikoku.meti.go.jp/soshiki/skh_b1/1_sesaku/140115/index.html)

## 四国センター（健康工学研究部門バイオマーカー解析研究グループ）の “A New Way to Diagnose Malaria”が NHK World（NHK Online English）にて紹介されました

四国センターの健康工学研究部門バイオマーカー解析研究グループ（片岡正俊研究グループ長）では、高感度で迅速・簡易なマラリア感染診断手法の研究開発に取り組んでおり、その研究成果がNHK Worldにて国際的に紹介されました。

【研究成果の概要は以下HPをご覧ください】  
※産総研Today Vol. 14-2（2014年2月号より）

AIST 健康 マラリア

検索

CLICK!!

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/aistinfo/aist\\_today/vol14\\_02/vol14\\_02\\_p09.pdf](http://www.aist.go.jp/aist_j/aistinfo/aist_today/vol14_02/vol14_02_p09.pdf)

## 平成25年度「産総研・新技術セミナー（西条、高松）」 の開催報告について

平成26年1月16日に愛媛県西条市にて、また平成26年1月21日に香川県高松市において「産総研・新技術セミナー」を開催しました。それぞれの開催地において30名以上のご参加をいただきました。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。次回は冒頭の記事でもご紹介させていただきました通り、平成26年2月28日（金）14:00から高知県工業技術センターにて開催いたします。



西条市産業情報支援センター  
（2014/1/16）での開催の様子

2014年2月号  
2014. 2. 13  
NO. 111-5

# AIST SHIKOKU NEWS

<http://unit.aist.go.jp/shikoku/>

## 平成25年度第2回香川大学社会連携・知的財産センターセミナーにて 森 和男 (産総研・名誉リサーチャー) が講演します

- 【日 時】平成26年2月26日 (水) 15:00～  
【場 所】香川大学林町 (工学部) キャンパス3号館 (講義棟) 3階3302講義室  
(高松市林町2217-20)  
【内 容】中小企業はイノベーションにどう立ち向かうか ー全国の事例にその秘訣を探るー  
独立行政法人産業技術総合研究所  
先進製造プロセス研究部門 名誉リサーチャー 森 和男

香川大学 地域ものづくり セミナー

検索

CLICK!!

<http://www.kagawa-isf.jp/topics/h25/20140205-010.pdf>

## かがわ希少糖フェア2014 平成26年3月29日 (土) ～3月31日 (月) 開催

- 【日 時】平成26年3月29日 (土) ～3月31日 (月)  
午前10時から午後4時まで (※予定)  
【場 所】サンポート高松 (〒760-0019 高松市サンポート2-1)  
【内 容】※予定  
希少糖関連商品の展示・試食、各種講座、希少糖を用いた料理教室・コンテストなど。

<※ホームページ準備中>

## 産総研TODAY 2月号 今月号は四国センター特集です

産総研で行われている研究開発を、研究者の言葉でお届けします。また産総研の経営情報やいろいろなニュースを交えて、様々な角度から産総研を紹介する月刊広報誌です。今月は四国センター特集が掲載されています。

### 四国センター特集

- ★健康な社会の実現を目指す  
(四国センター長 松木 則夫) [ PDF: 886KB ]
- ★細胞チップを用いたマラリア診断デバイス開発と国際貢献  
(バイオマーカー解析研究グループ 片岡 正俊) [ PDF: 901KB ]
- ★ポリビア・ウユニ塩湖からのリチウム採取  
(健康リスク削減技術研究グループ 苑田 晃成) [ PDF: 910KB ]
- ★紙のバイオチップ  
(バイオデバイス研究グループ 瀧脇 雄介) [ PDF: 924KB ]



AIST today

検索

CLICK!!

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/aistinfo/aist\\_today/vol14\\_02/vol14\\_02\\_main.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/aistinfo/aist_today/vol14_02/vol14_02_main.html)